

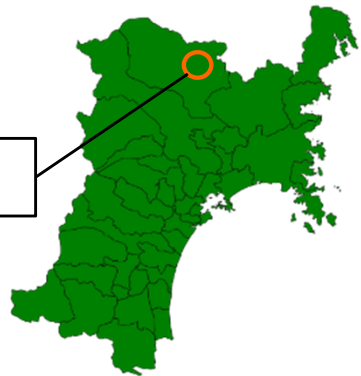
## 地区の概要

- 事業名: 農業競争力強化農地整備事業
- 地区名: 津久毛地区
- 受益面積: A=365.7ha
- 総事業費: 7,259百万円
- 工期: R1~R8
- 農家戸数: 329戸
- 関係市町村: 栗原市
- 土地改良区: 迫川上流土地改良区
- 導入作物予定: 水稲、大豆、ばれいしょ等
- 地区の特徴・PRポイント

→地区内の法人を中心に、土地利用型農業を展開しており、当事業を契機に作付け拡大を図るほか、高収益作物の栽培も取り組む。また流域治水対策として、地区全体で田んぼダムの導入を行う。

## 県内位置図

- 位置 くりはらしかんなり  
宮城県栗原市金成 (過疎)



つくも  
津久毛地区

## 実践担い手の概要

- 法人の名称  
株式会社 アグリ東北
- 構成員  
社員 4名 常勤パート4名  
期間雇用 4名
- 経営面積 (R5 予定)  
地区内 A=104ha (事前転作含む)  
地区外 A=83.5ha  
全体 A=187.5ha (事前転作含む)
- (作物別)  
主食用米 A=55 ha  
大豆 A=73.5ha  
牧草 (事前転作) A=55.1ha  
自己保全 A=3.9ha

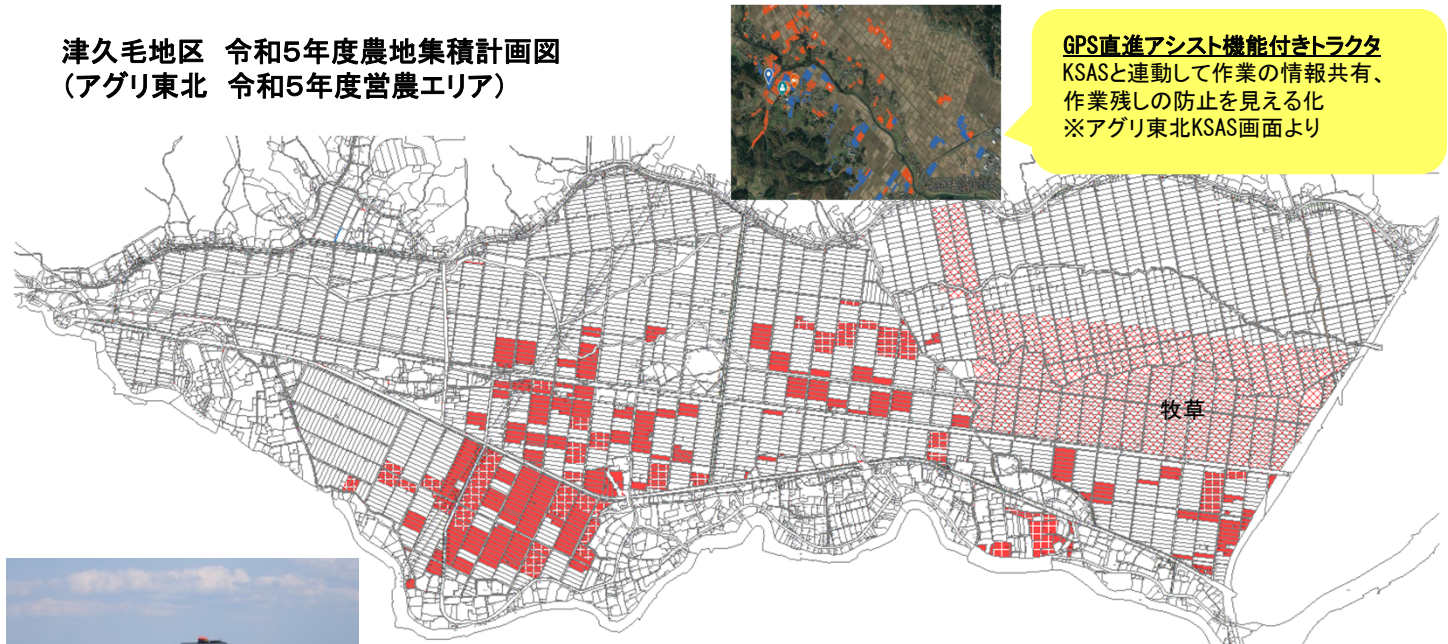
## 取り組み内容

### 【スマート農業の取組内容】

- 導入機械
  - ・直進アシスト機能付きトラクタ3台、
  - ・収量食味センサー付きコンバイン2台
  - ・GPS直進アシスト田植機2台 (うち可変施肥付き田植機1台)
  - ・ドローン2台 (防除用) ・営農管理システム
- 作業内容
  - ・大豆播種、水稲耕起・代掻き、田植え、刈取、農薬散布
- 【実践者の声】(鈴木 勲夫代表取締役)
  - ・ほ場位置の見える化、収量の数値化に基づく施肥設計への応用など、スマート農業導入による作業の効率化、栽培技術の高度化・高品質化を実感。
  - ・今後は大区画に整備されたほ場を中心に、乾田直播やロボットトラクタの導入など、いろいろなことに挑戦していきたい。

## 地区位置図・実践エリア

津久毛地区 令和5年度農地集積計画図  
(アグリ東北 令和5年度営農エリア)



GPS直進アシスト機能付きトラクタ  
KSASと連動して作業の情報共有、  
作業残しの防止を見える化  
※アグリ東北KSAS画面より



直進アシスト付き田植機 (R5.5.10撮影)

直進は自動操舵のため、田植機を停止することなく、苗つぎが可能。写真は進行中の苗つぎの状況写真。

— : 農地整備事業地区境  
■ : スマート農業実践エリア  
(赤: 水稲、赤格子: 大豆、薄赤格子: 牧草)